

事業シート（概要説明書）

予算事業名	中学生海外派遣事業	事業開始年度	平成4年度
上位施策事業名	かすみがうら市総合計画 第3章 第1節 教育の充実	担当局・部名	教育委員会
根拠法令		担当課・係名	学校教育課
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	課長 小松崎延明
事業の必要性・実施の背景	国際化の時代となり、国際交流を地域レベルで進めていく必要がある。また、国際感覚を養うには、現地での体験がなによりも大切である。平成4年度の出島村「少年のつばさ」から始まり、合併後も継続実施され、約500名が参加している「少年のつばさ」への参加を目標として、英語学習に意欲的に取り組んでいる生徒もおり、学習意欲を高める上でも有効である。		
目的 (何をどうするために)	21世紀を担うかすみがうら市の中学生を海外へ派遣し、その国の文化・風俗・習慣等に触れ国際感覚を養うとともに、広い視野から郷土や国家、国際社会に対する理解を深めさせる。		
目標 (何がどうなれば達成か)	派遣生が国際社会の一員としての力量を高め、広い視野から物事を考えることができるようになる。そして、自己の生き方を見つめる契機となる。また、研修してきた内容を学校や地域に広める活動を積極的に行い、地域の方、派遣生以外の生徒も世界に目を向けることができるようになる。		
対象 (誰・何を対象に)	市内中学校に在籍する2年生の希望者を対象に選考により対象者を選定	対象者数（全住民に対する割合）	30 人（0.06%）
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：少年のつばさ実行委員会）		
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）		
	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
事業概要	少年のつばさ実行委員会へ委託し事業を実施 夏休み期間中の海外派遣（ホームステイ）を主とした、事前研修、報告会の実施、報告書の作成を行い、参加した生徒による体験談発表等による意識の普及啓発を図る。 一連の事業の流れは以下のとおり。		
	<p>【実行委員会】 実行委員会を開き、事業についての確認をする。（4月）</p> <p>【参加者募集及び選考】 参加者募集及び選考。参加者選考においては、公平性を確保する面から、外部面接官を招き、選考を行う。（5月）</p> <p>【事前研修】 第1回事前研修会（6月）第2回事前研修会（7月）第3回事前研修会（8月）</p> <p>【現地研修（ホームステイ等）】（8月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修ではホームステイを充実させ、英語力の向上を図るとともに、現地の家族と人間的なふれあいの機会を増やす。また、文化や習慣の違いを知ることにより、日本を見つめ直す場とする。 ・現地校（キラウィーハイスクール）との交流の場を設け、コミュニケーション力の向上を図り、互いの文化を紹介しあう。そして、現地校の生徒との活動をとおして、友情を深め国際人としての力を育てる。 <p>【報告会】 現地研修終了後（帰国後）報告会を開くとともに、市広報誌へ研修内容の掲載、また研修報告書を作成し市内小中学校、図書館などに配布することにより研修成果を広く知らせる。学校内の文化祭での体験発表や体験記を学校内に掲示するなどして中学校の生徒が海外へ目を向けるきっかけとする。</p> <p>ホームステイ先の家族や現地校生とへのお礼の手紙を出すことによって、絆をさらに強くしていく。</p> <p>【実行委員会】 当該年度の事業実施に係る反省及び次年度に向けての協議を行う。</p>		
事業内容 (手段、手法など)	<p>※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載</p>		
関連事業 (同一目的事業等)			

事業シート（概要説明書）

予算事業名		中学生海外派遣事業				事業開始年度		平成4年度			
コスト	事業費	23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）			
		委託料		11,200 千円		17,581 千円		0 千円		10,996 千円	
				千円		千円		千円		千円	
				千円		千円		千円		千円	
				千円		千円		千円		千円	
				千円		千円		千円		千円	
	事業費合計		11,200 千円		17,581 千円		0 千円		10,996 千円		
	人件費	担当正職員		0.47 人	3,782 千円	0.47 人	3,800 千円	0.47 人	3,738 千円	0.47 人	3,738 千円
		臨時職員等		人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計		0.47 人	3,782 千円	0.47 人	3,800 千円	0.47 人	3,738 千円	0.47 人	3,738 千円
総事業費		14,982 千円		21,381 千円		3,738 千円		14,982 千円			
財源内訳	国県支出金		千円		千円		千円		千円		
	国県支出金の内容										
	地方債		千円		千円		千円		千円		
	その他特財		14,982 千円		21,381 千円		千円		14,982 千円		
	その他特財の内容		地域づくり基金・参加者負担金								
	一般財源		千円		千円		千円		千円		
財源合計		14,982 千円		21,381 千円		3,738 千円		14,982 千円			
事業実績	活動実績		【活動指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
			派遣生徒数の維持継続			名	60	0※	30		
			※H21は新型インフルエンザ流行のため事業中止。H22はH21に実施できなかったことに配慮し枠を拡大（3年生分）								
	効率指標（事業費/活動指標）		総事業費	/	派遣生徒数	円	356,350	0※	249,700		
事業成果	成果実績（事業目標達成状況）		【成果指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
	成果指標設定理由等		事業成果について、即効的な効果検証が難しい事業であるとする。海外派遣、外国での生活のみならず事前研修を含めて様々な体験が今後の学校生活、将来の職業や生活で大きな経験となっていることに期待したい。								
事業の自己評価（今後の事業の方向性、課題等）		日本の企業内の公用語に英語が使われる現在において、国際化は避けられない時代となっている。このような中、将来のかすみがうら市を担う中学生が海外派遣を通じて様々な体験を通じ、外国の文化風習に触れ、ホームステイを通じて外国の人々がどのような目線で日本を見ているかなど貴重な体験を提供している事業と考える。事業に参加した生徒は自分の体験を広くひろめる役割をもち、これから事業に参加を目指す生徒にとっては目的となる事業となる。この事業を通じて広く社会に貢献できる人材を育成する事業となるよう事業の検証等が必要と考える。									
比較参考値（他自治体での類似事業の例など）		平成23年度、茨城県内において同様の海外派遣を行っている自治体は44市町村中、当市を含めて21市町村で実施。友好都市、姉妹都市などとの相互交流を行っているところも多い。派遣は、中学生が多く高校生を含めて公募により募集し派遣団を形成している。各市町村では国際交流協会が関与し国際交流の推進を図るほか、人材育成を目的としているところが多い									
特記事項（事業の沿革等）		平成4年度から当時の出島村にて事業が開始される。これ以前は青年などを対象とした事業が行われていたが、未来を担う少年を対象にと中学生を対象とした事業に切り替わった。平成15年、平成21年にSAAS（サーズ）、新型インフルエンザの世界的な流行により中止となったが、現在まで継続し、平成23年度までに554名の中学生が参加した。									

委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)

予算事業名	中学生海外派遣事業		事業開始年度	平成4年度
団体名	少年のつばさ実行委員会			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	中学生海外派遣事業(少年のつばさ事業)を行うため、会長を教育長、委員を市内小中学校校長会会長、市教育研究会会長、市内4中学校長を委員とし、実行委員会にて実施に係るさまざまな協議を行っている。実行委員会事務局として教育委員会教育部長、学校教育課長、指導室指導主事を充て、事業の運営を行っている			
委託料・補助金等の 用途 (平成22年度分) ※委託料は設計ベースのため、前頁の 決算額における委託料と一致しない	委託料・内 補助金等	費目	概要	金額
		旅行費	旅行代金、ホームステイ費、燃油サーチャージ、保険料等	17,041千円
		引率者旅費	引率者日当	206千円
		面接経費	選考会外部面接官経費	177千円
		需用費、役務費	報告書印刷、事前研修消耗品、振込み手数料ほか	157千円
				千円
			千円	
委託料・補助金 総額				17,581千円

※以下、法律で財務情報の公表が義務付けられている団体(出資比率50%以上の団体、社会福祉協議会等)については必須記入。その他、必要と思われる場合に記入。

団体概要	中学生海外派遣事業の実施内容等について協議検討及び実施するため組織する団体 少年のつばさ実行委員会構成 委員会 会長:教育長 副会長:教育委員会教育部長 委員:市校長会会長、市教育研究会会長、市立中学校校長(4~6名※各年度の校長会、教育研究会会長の状況により委員数に変更が生じる) 事務局 学校教育課長、指導室指導主事									
	資本金	千円	役員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	市出資金	千円		役員						
	出資比率	%		職員						
団体の収入概要 (平成22年度)	項目		金額		概要(詳細等)					
	国からの財政支出金		千円							
	県からの財政支出金		千円							
	市町村からの財政支出金		17,000千円							
	委託料・指定管理料		17,000千円		中学生海外派遣事業委託金					
	補助金		千円							
	その他		千円							
	その他		5,401千円		参加者負担金:一人当たり90,000円、預金利子					
総計		22,401千円								
団体の支出概要 (平成22年度)	項目		金額		概要(詳細等)					
	事業費		17,375千円		旅行費、研修費、保険料、報告書印刷製本等					
	管理費		千円							
	人件費		206千円		引率者日当					
	総計		17,581千円							
利益剰余金 (または繰越欠損金)	平成22年度	4,820千円		剰余金については、年度内に市会計に戻入						

平成 22 年度かすみがうら市中学生海外派遣事業「少年のつばさ」決算書

(1) 収入

項目	予算額	決算額	比較	説明
委託料	17,000,000	17,000,000	0	市委託料
負担金	5,400,000	5,400,000	0	90,000×60名
雑収入	0	1,032	1,032	利息
計	22,400,000	22,401,032	1,032	

(2) 支出

項目	予算額	流用額	予算現額	決算額	比較	説明
参加費	16,830,000	0	16,830,000	16,337,970	△492,030	旅行代金 66名 (生徒60名、 引率6名)
燃料サー チャージ 追加分	0	462,000	462,000	462,000	0	(7,000円× 66名)
保険代	0	242,000	242,000	241,560	△440	(3,660円× 66名)
旅費	180,000	27,000	207,000	206,400	△600	(34,400円× 6名)
面接経費	200,000	0	200,000	177,240	△22,760	(42,220円× 4名) (消費税 8,440円)
役務費	5,250	0	5,250	840	△4,410	銀行振込料
需用費	5,184,750	△731,000	4,453,750	155,949	△4,297,801	別紙
計	22,400,000	0	22,400,000	17,581,959	△4,818,041	

差引 収入 22,401,032円 - 支出 17,581,959円 = 残金 4,819,073円

残金 4,819,073円 は、市の一般会計へ返金いたします。

〔会計監査〕 帳簿、通帳、領収書等 適正に処理されていたことを確認しました。

平成22年 12月 9日

監査 かすみがうら市中学生海外派遣事業「少年のつばさ」

実行委員会 副会長

横瀬典生 

平成 22 年度かすみがうら市中学生海外派遣事業「少年のつばさ」決算報告

【需用費内訳】

消耗品費 66, 699 円

・ CD・USBメモリー	9, 273 円	② ③ ②①
・ CDケース	813 円	④
・ 製本テープ	2, 268 円	⑤
・ 写真用紙 (名札作成用)	1, 280 円	⑬
・ お土産	4, 725 円	⑮
・ 薬品	2, 876 円	⑯
・ フロッピーディスク	3, 934 円	⑰
・ 原稿用紙	1, 625 円	⑱
・ 写真	37, 845 円	⑲ ⑳ ㉓
・ 郵送料	2, 060 円	㉔

印刷製本費 89, 250 円 ㉕

合 計 155, 949 円

平成 20 年度かすみがうら市中学生海外派遣事業「少年のつばさ」決算書

(1) 収入

項目	予算額	決算額	比較	説明
委託料	8,500,000	8,500,000	0	市委託料
負担金	2,700,000	2,700,000	0	90,000×30名
雑収入	0	2,900	2,900	利息
計	11,200,000	11,202,900	2,900	

(2) 支出

項目	予算額	流用額	予算現額	決算額	比較	説明
参加費 (燃料サ ーチを 含む)	10,588,032	173,000	10,761,032	10,760,429	△603	旅行代金 34 名 (生徒 30 名、 引率 4 名)
旅費	114,400		114,400	114,400	0	日当 28,600×4名
需用費	496,203	△173,000	323,203	121,114	△202,089	別紙
役務費	1,365		1,365	1,050	△315	銀行振込料
計	11,200,000	0	11,200,000	10,996,993	△203,007	

差引 収入 11,202,900 円 - 支出 10,996,993 円 = 残金 205,907 円

残金 205,907 円 は、市の一般会計へ返金いたします。

〔会計監査〕 帳簿、通帳、領収書等 適正に処理されていたことを確認しました。

平成 20 年 12 月 8 日

監査 かすみがうら市中学生海外派遣事業「少年のつばさ」

実行委員会 副会長

久保田 治嗣 

平成 20 年度かすみがうら市中学生海外派遣事業「少年のつばさ」決算報告

【需用費内訳】

消耗品費 29, 764 円

・ 製本テープ	1, 512 円
・ フロッピー代	2, 592 円
・ 色紙代	210 円
・ 土産代	2, 100 円
・ フラッシュメモリー代	9, 400 円
・ 集合写真代	13, 950 円

印刷製本費 91, 350 円

合 計 121, 114 円